nichicon

取扱説明書

ＥＶパワー・ステーション
コンセントモデル

ZHTP1700R

このたびは、EVパワー・ステーションをお買い上げいただきまして
誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。
また、保証書とともに大切に保管してください。

2014-9
TP1700RMNL01002

「電気自動車」を「非常用電源」として活用

- この製品は、本体装備の防水コンセント（AC100V）から、直接電気を供給できます。
- エンジン発電機に比べ動作音も静かで排気ガスが発生せず、環境に優しいシステムです。
- 200V 普通充電設備に比べ最大 2 倍の速さで充電が可能です。
- タイマー充電も可能ですので夜間電力を活用することでピークシフトに貢献します。

- 充電可能車両

  CHAdeMO（急速充電器の共通仕様）準拠の車両が対象となります。但し、車両側の仕様によっては、充電困難な場合があります。

- 給電可能車両

  給電対応を施した車両が対象となります。

目次

安全のために必ずお守りください……6
取扱上のお願い……8
設置上のお願い……9
各部の名前と働き……10
　本体……10
タッチパネルの画面表示について……12
　基本的な画面表示の構成……12
　ホーム画面表示……13
システム設定を行う……14
　システム設定画面に切り換える……14
　セキュリティ設定……15
　セキュリティ設定時の操作……16
　パスワード設定を忘れた場合……16
　音関連設定……17
　時刻設定……17
EV との接続方法……18
　EV へ接続する……18
　EV から取り外す……19
コネクタのロック／ロック解除を行う……20
　コネクタをロックする……20
　コネクタのロックを解除する……20
電気機器との接続方法……21
　電気機器を接続する……21
　電気機器を取り外す……21
EV を充電する（手動操作）……22
　タッチパネルを使用する場合……22
　充電を開始する……22
　充電を停止する……23
　前面のボタンを使用する場合……24

充電を開始する 24
充電を停止する 24
コンセントから給電する（手動操作） 25
給電する前に 25
給電を開始する 26
給電を停止する 27
給電中に停止した場合 27
タイマー予約運転をする 29
タイマー充電運転条件を設定する 29
充電タイマーを設定する 30
タイマー充電中に充電を停止する 31
タイマー時間中に再充電する 32
タイマー給電する前に 33
タイマー給電運転条件を設定する 33
給電タイマーを設定する 33
タイマー給電中に給電を停止する 35
タイマー時間中に再給電する 36
タイマー給電中に停止した場合 37
停電時に使用する 38
給電する前に 38
給電を開始する 38
給電を停止する 39
給電中に停止した場合 39
停電時に使用する場合の注意事項 39
その他の操作 40
電源を入れる 40
電源を切る 40
非常停止する 40
非常停止から復帰する 40
システムリセットする 41

データ表示について 42
こんなときは 43
本体の電源が入らない 43
パスワードを忘れた場合 43
コネクタが取り外せない 43
コネクタが凍結した 43
満充電にならずに充電が止まる 43
満充電設定していないのに満充電になる 43
充電時に本体への電源供給ブレーカが頻繁に落ちる 44
給電できない 44
給電が停止する 44
電気機器の動作が不安定になったり、停止したりする 45
EV からの給電時に、LED 照明がちらつく 45
給電中なのに電力メーターが動いている 45
機器から異音が発生する 46
定期的に「ピー」音が鳴る 46
タッチパネルの表示が見えにくい 46
しばらく使用しない場合 46
風水害または地震時の対応 46
エラーメッセージが表示されたとき 47
コネクタ付きケーブルを本体に固定する 47
点検とお手入れ 48
フィルターの交換 48
保証とアフターサービス 50
保証について 50
アフターサービスについて 50
製品に関するお問い合わせ 50
機器仕様 51
機器外観図 53

安全のために必ずお守りください

■ ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお使いください。
■ 個々に示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、お守りください。
■ お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できるところに保管ください。

ここに示した事項は、⚠ **警告**、⚠ **注意**に区分しています。

⚠	**警告**	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠	**注意**	取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については、次のような意味があります

	＊アース線を接続する 安全アース端子付きの機器の場合、使用者にアース線を接続するように指示する表示		**＊感電注意** 特定の条件に於いて、感電の可能性を注意する通告
	＊一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の場合		**＊分解禁止** 機器を分解することで感電などの障害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	＊一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示		

⚠ 警告

本体（コネクタ付きケーブルを含む）

カバーを開けない
内部に電圧の高い部分があります。感電の原因となります。

分解、改造をしない
感電や傷害を負う恐れがあります。

コネクタの金属接点に触れない
高い電圧が加わり、感電の恐れがあります。

濡れた手でコネクタを扱わない
感電の原因となることがあります。

植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器(ICD)を使用している方は機器本体部からの電磁波がペースメーカICDの作動に一時的な影響を与える場合がありますので次のことをお守りください。
・充電中、給電中の本製品に近づかないでください。
・本製品を操作する必要がある場合は、他の方にお願いしてください。(使用しないでください。)
・尚、不用意に近づいた場合には、立ち止まらずに速やかに離れてください。詳しくは、一般社団法人日本不整脈デバイス工業会(http://www.jadia.or.jp)に記載されております。

取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売店に依頼する
不備があった場合、感電や火災の恐れがあります。

子供だけで使わせない
感電、やけど、火災の恐れがあります。

降雪時は本体への積雪(1m以内)を避け、吸排気口などを塞がないようにする
機器が変形したり、内部が加熱し、故障の原因となります。

ケーブルを踏んだり、上に物を置いたり、引きずったりしない
ケーブルが損傷し、火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

本体（コネクタ付きケーブルを含む）

人命に直接かかわる医療機器などは接続しない
身体の安全を損ねる場合があります。

本体を蹴るなど、強い衝撃を与えない
変形して短絡し、発熱、発火、破壊、火災の恐れがあります。

本体の上に乗ったり、座ったり、ぶら下がったり、物を載せない
装置が変形し、脱落し、けが・感電・故障の原因となります。

可燃性ガスや引火物を近くに置かない（60cm以内）
電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火する恐れがあります。

コネクタに無理な力を加えない
コネクタが損傷し、故障や感電の原因となります。

コンセントボックスに無理な力を加えない
コンセントボックスが損傷し、故障や感電の原因となります。

コンセントボックスの蓋（フタ）を開けっ放しにしたり、開けたまま使用しない（確実に閉じる）
内部に雨水やほこりが侵入し、感電や故障の原因となります。

コンセントボックスの内部に水をかけない
感電や故障の原因となります。

コンセントボックス内部のブレーカと配線の露出部に手や金属の棒などで触れない
けが、感電の原因となります。

コンセントボックスが損傷したまま使用しない（お客様相談室に修理を依頼してください。）
火災・感電・故障の原因となります。

コンセント、吸排気口などに物（金属、紙、水など）を差し込んだり中に入れたりしない
火災・感電・故障の原因となります。

もし、煙が出たり、異臭がする場合は、すぐに本体を停止し、コンセントボックスのブレーカと本体への電源供給ブレーカを「OFF」にする
そのまま使用すると、火災の原因となります。お客様相談室にご連絡ください。

充電、給電以外の用途に使用しない
火災・感電・故障の原因となります。

シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を本体に吹き付けない
機器内部に侵入すると故障、発煙発火の原因になることがあります。

殺虫剤などを吹きかけない
機器内部に侵入すると故障、発煙発火の原因になることがあります。

⚠ 注意

本体（コネクタ付きケーブルを含む）

濡れた手で触れたり、濡れた布でふかない
感電の原因となることがあります。

雷が鳴り出したときは、EVや本体に触れない
落雷による感電などの恐れがあります。

アース工事を行う（D種接地工事）
アース工事は、設置業者の方にて施工をお願いします。お客様がアースを変更することはせず、必要な場合は、設置業者の方に依頼してください。
アース工事が不完全な場合、感電の恐れがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

洗車時の洗剤や高圧水が本製品にかからないようにする
内部に侵入し、故障や感電の原因となることがあります。

⚠ 注意	
本体（コネクタ付きケーブルを含む）	
⊘	**近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない** 引火し、やけど・火災の原因となることがあります。
	お子様の手の届くところで使わない 思わぬ事故の原因となります。
	コンセントの頻繁な抜き差しはしない **本体に設けてあるコンセントは、抜け止め防止コンセントで、ロックして使用することを前提としています。そのため、毎日抜き差しするような用途には適しません。その様な使い方をした場合は、コンセントが磨耗して発熱する事があります。**

取扱上のお願い

本体（コネクタ付きケーブルを含む）	
❗	**取扱説明書を熟読する** ご使用される前には、取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。
	給電開始前にコンセントボックスのブレーカを「入」にする **給電開始後にブレーカ「入」にすると、電気機器に一斉に突入電流が流れ、影響がでる場合があります。**
	1年に一度、フィルターの交換を行う 性能維持のため1年に一度、フィルターの交換を行ってください。
	塩分や融雪剤などの除去を行う **性能維持のため、付着した塩分や融雪剤などを除去するために定期的に水洗いを行ってください。**
	除雪を行う **降雪により吸気口・排気口が塞がれないよう除雪を行ってください。**
	不使用時は、コネクタをコネクタホルダに収納して保管する 潮風や融雪剤などを避けることで、サビの発生時期や進行を遅らせることができます。
⊘	**シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない** 装置の変色の原因となります。
	装置の近くでテレビやラジオなどを使用しない テレビの画面が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。3m以上離してご使用ください。 受信している電波の弱い場所では電波障害を受ける恐れがあります。
	PLC（電力線通信）を使用しない 通信に障害を与えたり、本機が正常に動作しない恐れがあります。
	高圧水での洗浄はしない。また、吸気口や排気口から水を入れない **故障や事故が発生する恐れがあります。**
	タッチパネルにお湯をかけるなどの急激な温度変化を与えない **タッチパネルが故障する場合があります。**
	雪吹込み防止フードを取り外さない（寒冷地仕様品） **本体内部に雪が入りやすくなり故障する場合があります。**
	廃棄処理・リサイクルについて 本機には密閉型鉛蓄電池を使用しています。廃棄する場合は、販売店にお問い合わせください。
	コンセントを定格以上で使用しない ブレーカが遮断され、電気機器がお使いになれません。

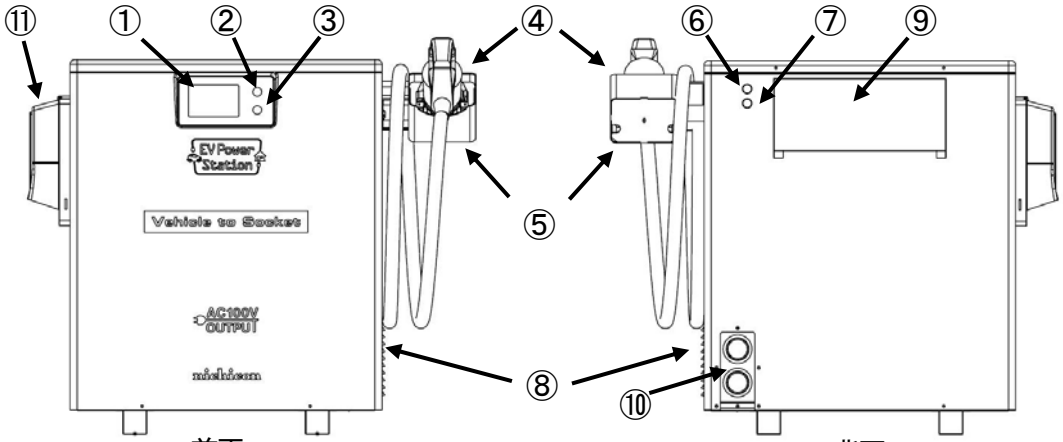
設置上のお願い

本体（コネクタ付きケーブルを含む）
本体はコンクリートで養生したところに設置する 雑草などが本体内に入り込むと、動作不良、故障、発煙発火の原因になることがあります。
本体は風通しの良い日陰に設置する 本体の温度が上昇し、本来の性能を発揮できない恐れがあります。
設置の際は本体を水平に設置し、アンカーで固定する 本体の転倒により、故障や思わぬ怪我の原因になることがあります。
道路からできるだけ離して設置する 道路から巻き上げられたしぶきや融雪剤が内部に侵入し、本体の寿命を縮める可能性があります。
指定の設置業者に設置を依頼する 指定設置業者以外で設置したり、個人で設置した場合は、保証の対象外となります。
塩害地域や温泉地などに設置する場合は、あらかじめ設置業者などに相談する 塩霧や腐食性ガスの影響で本体が腐食し、寿命を縮める可能性があります。
移設等で機器を一時保管される場合は屋内（湿気の少ないところ）に保管する
次のような場所には取り付けない ☐ 住宅の居間・寝室・書斎のような騒音について厳しい制約をうける場所の近く ☐ **標高2000mより高いところ** ☐ 揮発性、可燃性、腐食性及びその他の有害ガスのあるところ ☐ 振動、衝撃の影響が大きいところ ☐ 油蒸気のあるところ ☐ 浸水の恐れのあるところ、水はけの悪いところ。 ☐ 電界の影響が大きいところ ☐ 重塩害地域 ☐ 潮風や融雪剤飛沫に直接さらされるところ 極力建物の風下に設置してください。やむを得ず海岸面や融雪剤散布側に本体を据付ける場合でも、防風板等を設置し、直接潮風や融雪剤飛沫が当らないよう設置する。 ☐ 雪の吹きさらしとなるところ ☐ 落雪の影響を受けるところ ☐ 降雪により吸気口・排気口がふさがるところ ☐ 結露および氷結のあるところ ☐ 直射日光が当たり高温になるところ ※次の温度範囲外のところでは動作が保証されません 温度：－10℃～＋40℃（寒冷地仕様は －30℃～＋40℃）

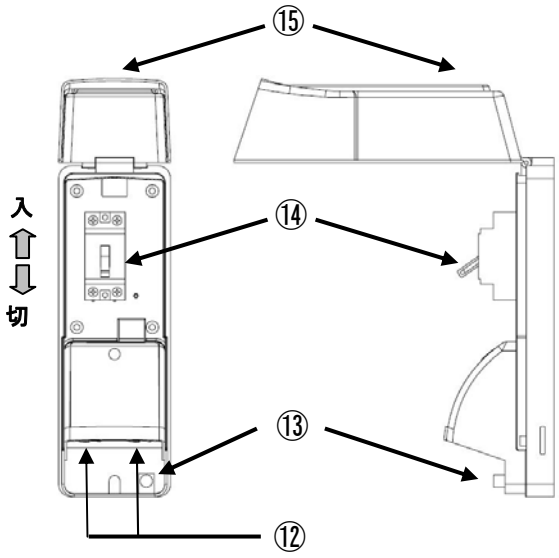
各部の名前と働き

本体

充電ユニットとインバーターユニットで構成され、EV への充電、コンセントへの給電を制御します。



①	タッチパネル	表示画面を兼ねた操作パネルです。 充電・給電状態の表示や各動作モードの設定を行います。
②	[充電開始] ボタン （青色ボタン）	充電動作の指示を行います。
③	[充電停止] ボタン （緑色ボタン）	充電停止の指示を行います。
④	コネクタ付きケーブル	本体と EV を接続します。
⑤	コネクタホルダ	コネクタを収納します。
⑥	[非常停止] ボタン （赤色ボタン）	非常時に充電・給電動作を緊急停止させます。
⑦	[停電復旧] ボタン （黄色ボタン）	停電時に動作が停止した場合に、再起動させます。
⑧	吸気口	本体内部を冷却するための空気を吸い込む口です。
⑨	排気口	本体内部を冷却した空気を排出する口です。
⑩	配線口	配線を通す口です。
⑪	コンセントボックス	コンセントから電気機器に給電を行います。



コンセントボックス

⑫	コンセント	電気機器のプラグを接続するコンセントです。
⑬	アース端子	電気機器のアース線を接続する端子です。
⑭	コンセントブレーカ	漏電遮断機能付きブレーカです。
⑮	蓋（フタ）	コンセントボックスの蓋（フタ）です。

※前面ボタンのランプ点灯状態により、本体の状態を知ることができます。

	充電開始ボタン（青）	充電停止ボタン（緑）
待機中	点灯	消灯
充電中	点滅	点灯
給電中	消灯	消灯
異常時	消灯	点灯

タッチパネルの画面表示について

基本的な画面表示の構成

この製品は、本体のタッチパネルの画面をタッチしてさまざまな操作を行います。
画面は次のような構成を基本としています。

①	現在のモード表示	動作モード（充電、給電、停電）を表示します。 ※動作モードが表示されていない場合は、待機状態を表します。
②	現在時刻表示	現在時刻（年／月／日　時刻）を表示します。
③	[ホーム]	ホーム画面に戻ります。
④	設定・表示領域	設定ボタン、データ、ガイダンスを表示します。
⑤	メッセージ表示	お知らせするメッセージを表示します。
⑥	切り換えボタン	項目が 2 画面以上ある場合に、表示画面を切り換えます。

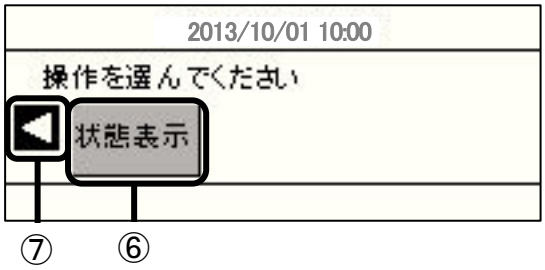
ホーム画面表示

待機時は次の画面が表示されます。ここから順に目的の操作を行います。

ホーム画面 1

ホーム画面 2

ホーム画面 3



①	[手動操作]	手動での充電、給電操作を行います。
②	[コネクタロック]	コネクタを EV に接続したときに、コネクタを EV へロックします。 また、ロック状態のコネクタのロック解除を行います。
③	[タイマー運転]	タイマー運転や条件設定を行います。
④	[データ表示]	充電電力量や給電電力量の統計データを表示します。
⑤	[システム設定]	セキュリティ設定や電力設定などシステムに関する設定を行います。
⑥	[状態表示]	充電中や給電中の状態を表示します。
⑦	切り換えボタン	項目が 2 画面以上ある場合に、表示画面を切り換えます。

システム設定を行う

セキュリティ設定、時刻設定などシステムに関わる設定を行えます。

システム設定画面に切り換える

ホーム画面 2 で［ システム設定 ］ボタンをタッチします。

ホーム画面 2

システム設定画面が表示されます。ここから順に目的の操作を行います。

システム設定

①	[セキュリティ設定]	パスワードの設定を行います。
②	[音関連設定]	お知らせ音の有効／無効を切り換えます。
③	[時刻設定]	現在時刻の設定を行います。

セキュリティ設定

パスワードによるセキュリティ設定をすることにより、いたずらなどによる誤動作、第三者による操作を防ぐことができます。

- 工場出荷時は[無効]になっています。

- [充電開始]ボタン（青ボタン）、[充電停止]ボタン（緑ボタン）は、セキュリティがかけられません。

① セキュリティ設定画面に切り換える

システム設定画面で、[セキュリティ設定] をタッチします。

② パスワードを変更する

[パスワード変更] をタッチします。

③ パスワードを設定する

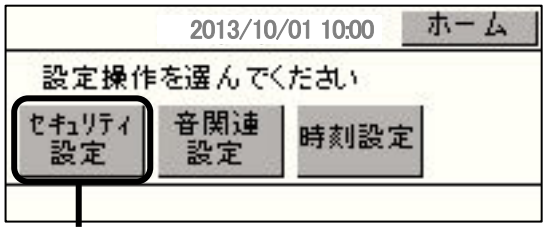
4 桁の数字を入力してください。

数字キーを押すと、新しいパスワードが入力されます。

④ 変更したパスワードを保存する

[決定] をタッチします。

システム設定



①

セキュリティ設定

②

パスワード設定

Memo

設定したパスワードの記載欄としてお使いください。

⑤ **パスワード表示設定画面にする**

パスワード設定画面に戻り、[パスワード表示設定]をタッチすると、⑥の画面が表示されます。

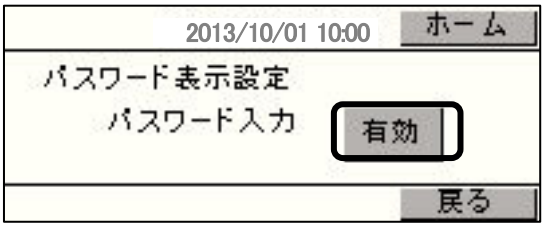
セキュリティ設定

⑥ **パスワードを有効にする**

[有効] をタッチする。

※4 桁のパスワードを設定してから、[有効] にしてください。(→15 ページ)

パスワード表示設定



セキュリティ設定時の操作

セキュリティ設定をすると、設定開始時、またはタッチパネルのバックライト消灯からの復帰時に、パスワードの入力が必要になります。

パスワード入力画面が表示されたら、設定した4桁のパスワードを入力し、[決定] をタッチしてください。

パスワード設定

パスワード設定を忘れた場合

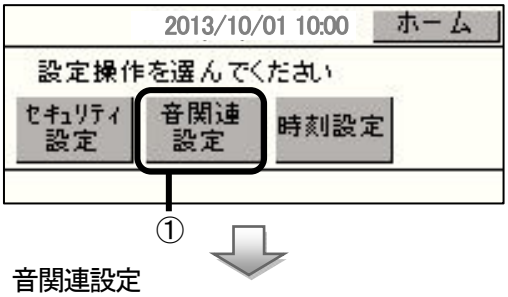
設定したパスワードを忘れた場合は、43 ページの「パスワードを忘れた場合」を参照してください。

音関連設定

充電および給電の開始／終了時または通信異常発生時に音でお知らせします。

- 工場出荷時は[有効]になっています。

システム設定



① 音関連設定　画面に切り換える

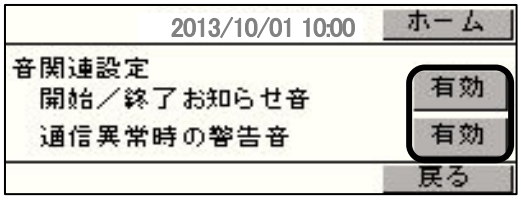
[音関連設定] をタッチする。

② お知らせ音の有効／無効を設定する

[有効] をタッチする。
再度タッチすると無効になります。

無効　　有効

音関連設定



- 音の大きさは変更できません。
- 「通信異常時の警告音」を無効にすると、タッチパネルと本体間の通信異常や EV と本体間の車両通信異常の際に、警告音を鳴らさなくすることができます。

時刻設定

現在の日時を設定できます。

現在時刻は、長く使用されるとずれることがあります。定期的に修正することをお勧めします。

タイマー運転中に時刻を変更すると正しく動作しないため、タイマー運転中は時刻変更をしないでください。

システム設定

① 時刻設定画面に切り換える

[時刻設定] をタッチします。

② 現在日時を変更する

変更したい 年、月、日、時、分　をタッチし、
[▲／▼]で変更します。

③ 変更を確定する

変更終了後、[決定] をタッチします。

時刻設定

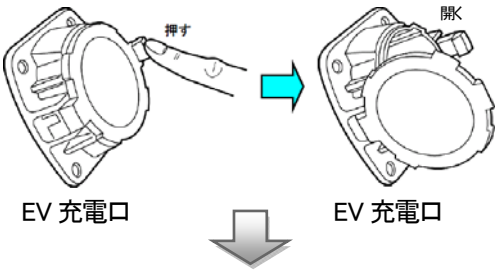
EV との接続方法

EV との接続は、EV が停止した状態で行ってください。
EV はパーキング状態で、メーターパネルが消えた状態（イグニッション OFF）にしてください。

EV へ接続する

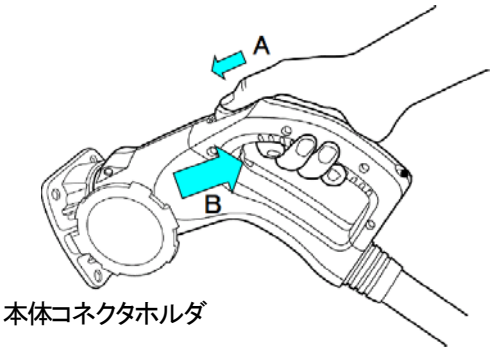
① **EV を準備する**

EV のシフトをパーキング(P 位置)にします。
キーを OFF にして EV の充電口を開きます。



② **EVパワー・ステーションからコネクタを取り外す**

コネクタの解除ボタンを押しながら（A）、
コネクタをコネクタホルダから引き抜い
てください（B）。



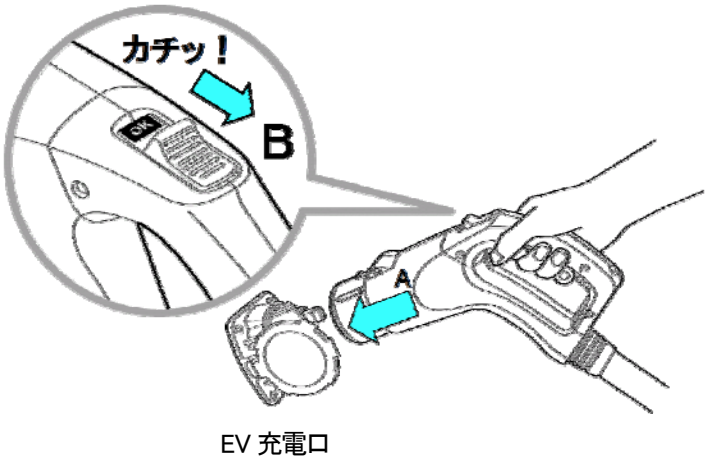
③ **EV にコネクタを接続する**

コネクタを EV の充電口に差し込みます（A）。
「カチッ！」と音がし「OK」の文字が見えるまで
押し込んでください（B）。

※ コネクタ接続中は EV を移動させないよう
にしてください。EV の充電口やコネクタが
破損する恐れがあります。

※ EV の取り扱いについては、EV の取扱説
明書を参照ください。

※ コネクタをロックすることで、いたずらの防
止をすることができます。（→20 ページ）



EV から取り外す

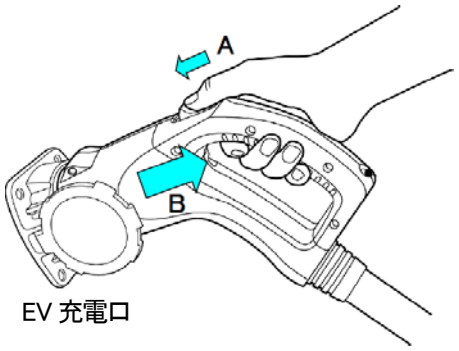
① **EV からコネクタを取り外す**

コネクタの解除ボタンを押しながら(A)、コネクタを充電口から引き抜いてください(B)。

※ 充電・給電中にコネクタは外さないでください。

※ コネクタを外す場合は、充電・給電操作を停止し、EV パワー・ステーションが停止したことを確認した後に行ってください。

※ ロック中(赤いランプが点灯します)はコネクタを取り外せませんので、コネクタを取り外す時は「ロック解除」を行ってください。(→20 ページ)



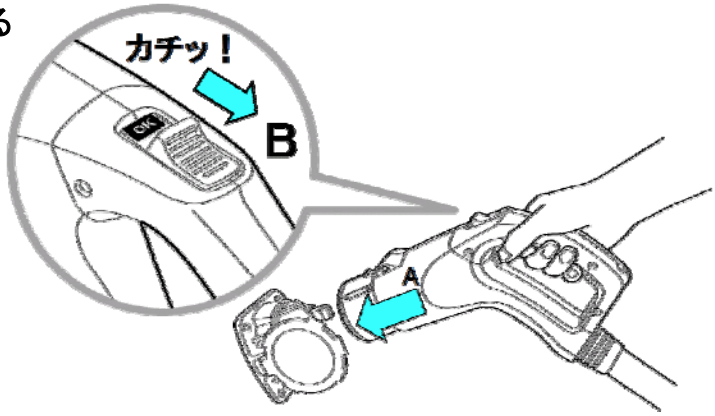
EV 充電口

② **EVパワー・ステーションにコネクタを収納する**

ケーブルをコネクタホルダに巻き付け、コネクタを収納口に差し込みます(A)。

「カチッ！」と音がし、「OK」の文字が見えるまで押し込んで収納してください(B)。

※ 不使用時は、雨水やほこりなどを避けるためにも、コネクタをコネクタホルダに収納して保管してください。



本体コネクタホルダ

コネクタのロック／ロック解除を行う

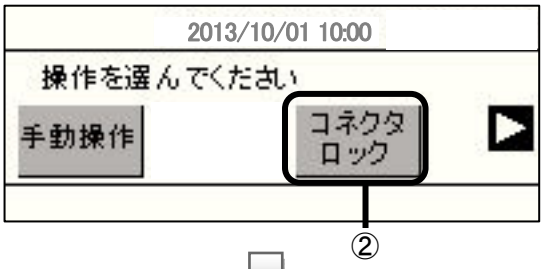
コネクタの EV へのロック／ロック解除を行います。 コネクタのロック中は、コネクタは EV から取り外せません。 コネクタを EV から取り外す場合は、コネクタのロックを解除してください。
タイマー運転を行う場合は、コネクタの接続忘れを防止するために、タイマー設定と同時にコネクタを EV へ接続してください。また、いたずらを防止するために、コネクタロックを行うことを推奨します。

コネクタをロックする

① **コネクタを接続する**
コネクタを EV に接続します。(→18 ページ)

② **コネクタロック画面に切り換える**
ホーム画面 1 で[コネクタロック]をタッチします。

ホーム画面 1



③ **コネクタをロックする**
[ロック]をタッチします。
コネクタが EV にロックされます

コネクタロック

※ コネクタが EV に接続されていない状態では、
コネクタはロックできません。
※ コネクタロック中は、無理にコネクタを取り外さないでください。
※ EVパワー・ステーション本体のコネクタホルダにはロックできません。

コネクタのロックを解除する

① **コネクタのロックを解除する。**
[解除] をタッチします。

② **コネクタを取り外す。**
コネクタのロック解除後に行ってください。
(→19 ページ)

コネクタロック

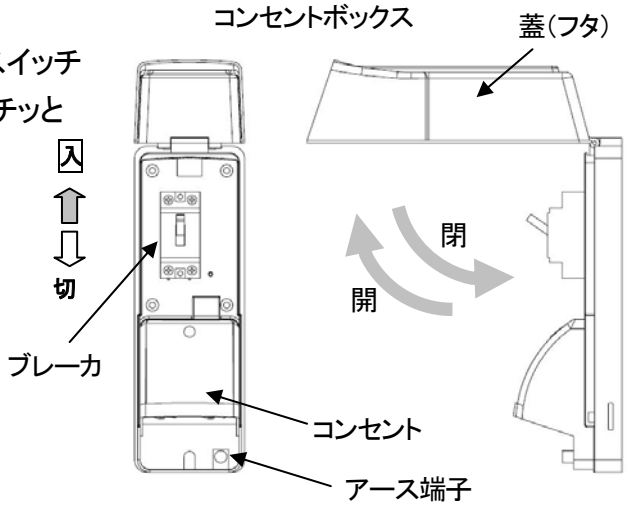
※ 充電・給電動作中はコネクタのロック解除はできません。
動作を停止させてからロックを解除してください

電気機器との接続方法

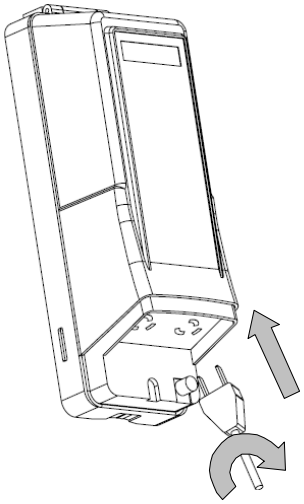
- **コンセントの頻繁な抜き差しはしない**でください。
- 蓋(フタ)を開けたまま使用しないでください。

電気機器を接続する

① コンセントボックスのブレーカを「入」にする。
コンセントボックスの蓋(フタ)を開け、ブレーカのスイッチを「入」にする。「入」にしたら、蓋(フタ)を確実にカチッと音がするまで閉める。

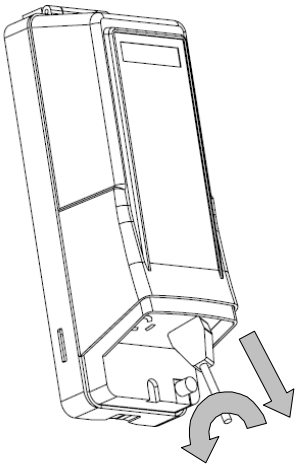


② 電気機器を接続する。
コンセントに電気機器のプラグを奥まで差し込み、止まる位置まで右回りに回転させる。
アース線付きプラグの場合は、アース線をアース端子に接続する。



電気機器を取り外す

① 電気機器のプラグを取り外す
電気機器のプラグを、止まる位置まで左回りに回転させ、下方向に軽く引張り、取り外す。



EV を充電する（手動操作）

EV への充電を行います。手動での充電は、タッチパネル、または前面のボタンから行うことができます。

- 充電には 6kW 未満の電力が必要です。その他ご家庭内でご使用になる電気機器も含めた電力契約が必要です。
- 通常は EV が推奨するバッテリー容量まで充電します。満充電が設定されている場合は、満充電まで充電します。

タッチパネルを使用する場合

タッチパネルを使用し、EV への充電を行うことができます。

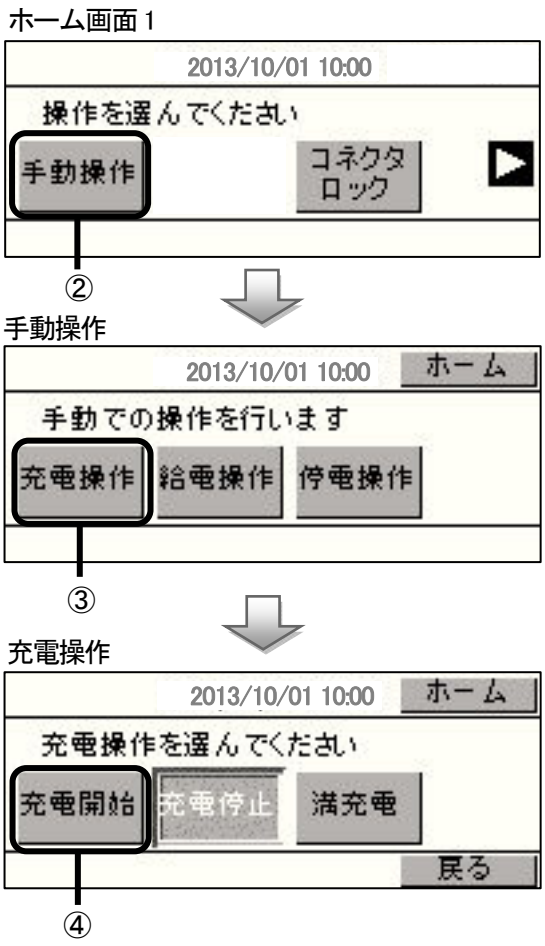
充電を開始する

① **コネクタを接続する**
コネクタを EV に接続します。(→18 ページ)

② **手動操作画面に切り換える**
ホーム画面 1 で[手動操作]をタッチします。

③ **充電操作画面に切り換える**
[充電操作]をタッチします。

④ **充電する**
[充電開始]をタッチします。



⑤ **満充電したい場合**

[満充電] をタッチ後に、[充電開始]をタッチします。

・ 満充電を行う際は、充電を開始する前に 満充電　を設定してください。
充電中の変更はできません。
・ [満充電] は**設定を変更するまでその状態を保持します。**

充電を開始すると画面が切り換わり、充電情報が表示されます。
[切替]をタッチすることで、文字表示⇔絵表示を切り換えることができます。
充電情報は充電動作中に、ホーム画面 3 で[状態表示]をタッチすることで確認することもできます。

・文字表示

・絵表示

充電を停止する

① **充電を停止する**

充電操作画面で[充電停止]をタッチします。

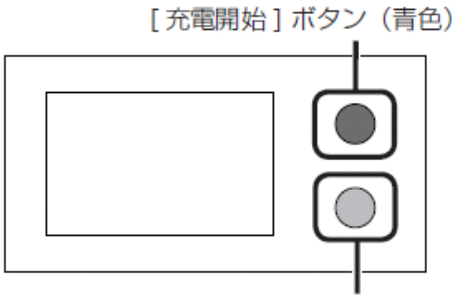
- 充電動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままとなります。
- コネクタを取り外す際は、「コネクタのロック／ロック解除を行う」(→20 ページ)を参考にロックの解除を行ってください。

前面のボタンを使用する場合

本体前面の[充電開始] ボタン、[充電停止] ボタンを使用することで、推奨バッテリー容量までの充電をワンタッチで行うことができます。
セキュリティ設定を行っていても前面のボタンでの操作は可能です。

充電を開始する

① **コネクタを接続する**
コネクタを EV に接続します。(→18 ページ)



本体前面のタッチパネル周辺

② **充電を開始する**
本体前面の[充電開始]ボタン(青色)を押します。
コネクタがロックされ、EV への充電を開始します。
本体前面のボタンは本体が待機状態（タッチパネルの動作モード表示がない場合）のみ操作することができます。
EV への充電中は[充電開始]ボタンは点滅(青色)します。
充電状態を確認するには、ホーム画面 3 で[状態表示]をタッチしてください。
(→13 ページ)

充電を停止する

① **充電を停止する**
本体前面の[充電停止] ボタン(緑色)を押します。
EV への充電が停止します。

- 充電動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままとなります。
- コネクタを取り外す際は、「コネクタのロック／ロック解除を行う」(→20 ページ)を参考にロック解除を行ってください。

コンセントから給電する（手動操作）

EV から給電を行います。手動での給電は、タッチパネルから行うことができます。
本機のコンセントに接続することで、電気機器をご使用になれます。

給電する前に

EV から給電操作を行うときには、定格出力範囲内でご使用ください。それよりも大きい負荷を使用されますと電圧が低下し、動作が不安定になったり、停止したりする場合があります。
EV からの給電中は下記の電気機器の使用は避ける、または注意して使用してください。

電気機器の種類	対処・動作	製品例
途中で電源が切れると困る電気機器	接続禁止	医療機器
	接続注意	録画機器 デスクトップ型パソコンなど電源が切れたら困る機器
突入電流が大きい電気機器	動作しない場合がある	家庭用エレベーター、掃除機、遠赤外線ヒーター、井戸水ポンプ、業務用複合機、暖房温水便座、高圧洗浄機、大型ブラウン管テレビなど
消費電力が大きい電気機器	動作しない場合がある	炊飯器、電子レンジ、 IH クッキングヒーター、エアコンなど

＜電気使用量の大きい電気機器の参考データ＞

- 電子レンジ 1,000 ～ 1,200W（10～12A）
- IH レンジ 1,000W（10A）
- 掃除機 1,000W（10A）
- 液晶 TV 200W（2A）
- 冷蔵庫 150W（1.5A）

- 人命に直接かかわる医療機器など、瞬時停電があると事故または支障のある電気機器は絶対に接続しないでください。
- EV のバッテリー容量が EV に設定された最低確保充電率以下になっている場合は、給電ができません。
- コンセントの差し込み口、ブレーカと配線の金属露出部に触れないでください。
- コンセントボックスの蓋（フタ）を開けっ放しにしたり、開けたまま使用しないでください。
- コンセントを定格以上で使用しないでください。

給電を開始する

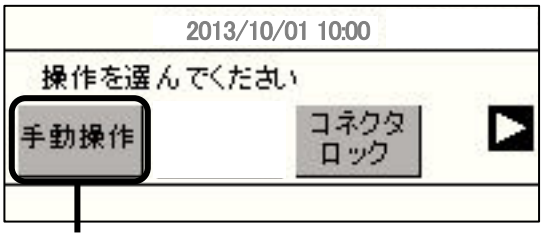
① **コネクタを接続する**

コネクタを EV に接続します。(→18 ページ)

② **手動操作 画面に切り換える**

ホーム画面 1 で[手動操作]をタッチします。

ホーム画面 1



②

③ **給電操作 画面に切り換える**

[給電操作]をタッチします。

手動操作

③

④ **給電を開始する**

[給電開始]をタッチします。コネクタがロックされ、給電を開始します。

給電操作

④ ⑤

⑤ **非常時(停電時)に給電を行う場合**

非常時給電設定は、停電時等に推奨の最低確保充電率 30%を下回って給電を行いたい場合に、設定を変更します。

給電操作画面で[非常時給電設定] をタッチします。

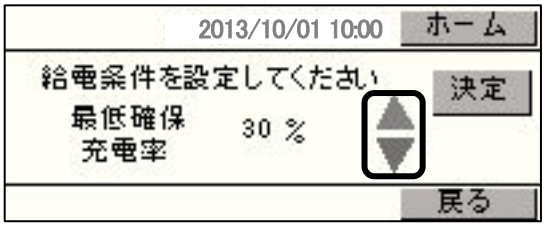
[▲／▼] で最低確保充電率を設定し、[決定] をタッチします(決定すると給電操作画面に戻ります)。

設定完了後、[給電開始] をタッチします。

※ 最低確保充電率は 10%刻みで設定を変更できます。

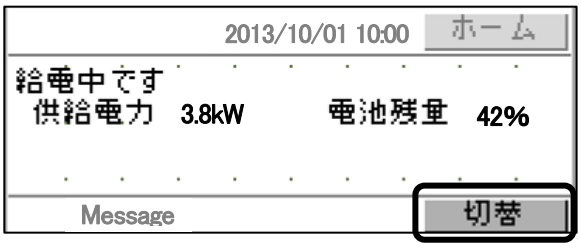
※ 10%未満には設定できません。

非常給電設定



給電を開始すると画面が切り換わり、給電情報が表示されます。
[切替]をタッチすることで、文字表示⇔絵表示を切り換えることができます。

文字表示



絵表示

給電を停止する

① **給電を停止する**

給電操作画面で[給電停止]をタッチします。

給電操作

- 給電動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままとなります。
- コネクタを取り外す際は、「コネクタのロック／ロック解除を行う」(→20 ページ)を参考にロックの解除を行ってください。

給電中に停止した場合

1. EV のバッテリー容量が、EV に設定された最低確保充電率に達した場合は、給電が停止します。
   - タッチパネルに [給電が終了しました]が表示されます。
     給電は継続できません。EV を充電してから、給電を再開させてください。(→22,25,26 ページ)

2. 使用電力が多くなり、本機の電力供給能力を超えた場合、自動的に給電が停止します。
   - タッチパネルの表示が [給電中]のままの場合
     コンセントボックスのブレーカが「切」になっていないか、確認してください。(→11 ページ)
     コンセントボックスのブレーカが「切」になっている場合は、ブレーカの定格を超えて電気機器を使用した可能性があります。タッチパネルの [給電停止] をタッチし、給電動作を停止してください。コンセントに接続する電気機器の使用電力を下げ、ブレーカを「入」にした後、給電を再開させてください。(→25 ページ)

● タッチパネルのメッセージ表示部に「手動給電再開待ちです」が表示された場合
本体機能の保護回路が動作しています。コンセントに接続する電気機器の使用電力を下げて頂くと、約 10 分後に自動的に給電を再開します。すぐに給電を再開させる場合は、タッチパネルの[　給電停止　]をタッチし、給電動作を停止した後に、コンセントに接続する電気機器の使用電力を下げてから、給電を再開させてください。（→25 ページ）

タイマー予約運転をする

毎日予約した時刻になると、自動的に充電の開始／停止、給電の開始／停止を行います。

- タイマー開始時刻に、手動で充電動作または給電動作が行われていると、**タイマー運転は開始されません。**
- タイマー運転時間内で、コネクタが接続されていなければ 10 分ごとに開始音と異常発生通知音が鳴ります。この音は消すことができます。(→17 ページ)

タイマー充電運転条件を設定する

タイマー充電の条件を設定します。

ホーム画面 2

① **タイマー運転 画面に切り換える。**

ホーム画面 2 で[タイマー運転]をタッチします。

② **充電条件を設定する。**

- 通常

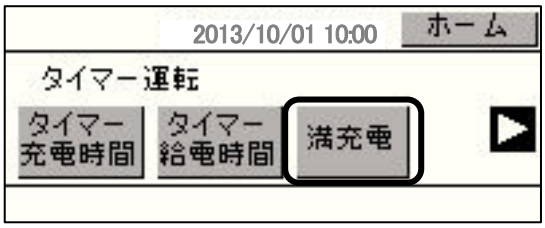
  設定の必要はありません。

  EV が推奨するバッテリー容量まで充電します。

- 満充電

  バッテリーのフル充電を行う場合は、[満充電] をタッチします。

タイマー運転 1



・満充電を行う際は、タイマー開始時間の前に[満充電] を設定してください。
タイマー運転中(充電または給電中)の設定はできません。

・[満充電] は、**設定を変更するまでその状態を保持します。**

充電タイマーを設定する

設定時刻に自動的に充電を開始します。

※通常は EV が推奨するバッテリー容量まで充電します。満充電が設定されている場合は、満充電まで充電します。

ホーム画面 2

① タイマー運転 画面に切り換える。

ホーム画面 2 で[タイマー運転] をタッチします。

タイマー運転

② タイマー充電時間 画面に切り換える。

[タイマー充電時間] をタッチします。

タイマー充電時間

③ 設定を変更する。

設定したい[時 、 分] をタッチします。

※タイマー運転時間中はタイマー設定を変更できません。

④ 時刻を設定する。

[▲／▼]を押すと、時刻が変更されます。

※ [時]は 1 時間単位、[分]は 10 分単位で変更できます。

タイマー充電時間

⑤ タイマーを有効にする。

[有効] をタッチします。

タイマー運転を無効にする場合は、同一の手順で無効にしてください。

無効　　有効

※時刻設定をしただけでは、タイマー運転は有効にはなりません。
タイマー運転を使用する場合は、設定を有効にしてください。

⑥ **変更した時刻を保存する。**

[決定] をタッチします。

※[決定] をタッチしないと、時刻は保存されません。

※タイマー充電時間はタイマー給電の設定時間と重複しないように設定してください。
設定時間が重複していると、設定は行えずエラーメッセージが表示されます。

⑦ **コネクタを接続する。**

コネクタを EV に接続します。(→18 ページ)

EV へ接続後、コネクタはロックしておいてください。(→20 ページ)

※コネクタは、設定した開始時刻までに EV へ接続しておいてください。

タイマー充電中に充電を停止する

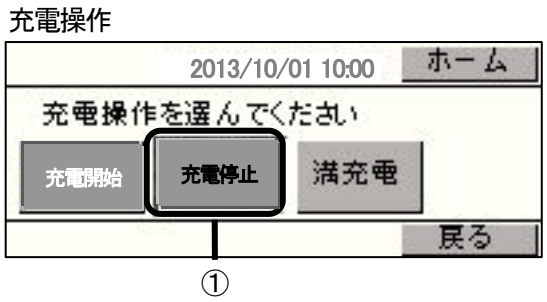
充電を停止する

タイマー充電中に充電を停止する場合は、手動操作による充電停止をしてください。

> タイマー充電を手動で停止した場合、タイマー設定時間内であっても再接続による充電動作は<u>再開されません</u>。 手動充電による充電動作は可能です。

① **充電を停止する。**

充電操作画面で[充電停止]をタッチします。



② **コネクタのロックを解除する。**

コネクタロック画面で[解除] をタッチします。

※ 充電動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままとなります。

※ コネクタを取り外す際は、コネクタロックの解除を行ってください。(→20 ページへ)

タイマー時間中に再充電する

充電を開始する

タイマー時間中に再充電される場合は、手動操作による充電開始をしてください。

> タイマー充電を手動で停止した場合、タイマー設定時間内であっても再接続による充電動作は**再開されません**。 手動充電による充電動作は可能です。

① **コネクタを接続する。**

EV にコネクタを接続します。(→18 ページ)

② **手動操作画面に切り換える。**

ホーム画面 1 で[手動操作]をタッチします。

ホーム画面 1

③ **充電操作画面に切り換える。**

[充電操作]をタッチします。

手動操作

④ **充電を開始する。**

[充電開始]をタッチします。

充電操作

タイマー給電する前に

- タイマー給電をする前に、25 ページの「給電する前に」をご確認ください。
- タイマー条件を設定しても、EV のバッテリー容量が EV に設定された最低確保充電率以下になっている場合は、給電ができません。

タイマー給電運転条件を設定する

タイマー給電の条件を設定します。

① **タイマー運転 画面に切り換える。**
ホーム画面 2 で[タイマー運転]をタッチします。

ホーム画面 2

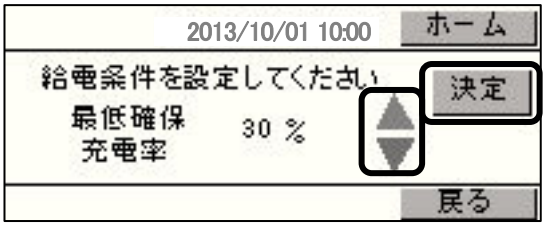
② **給電条件を設定する。**

- 通常時
  設定の必要はありません。

- 非常時
  タイマー運転 2 画面で[非常時給電設定] をタッチします。
  [▲／▼]で最低確保充電率を設定し、[決定]をタッチします。
  ※ 最低確保充電率は 10%刻みで設定を変更できます。
  ※ 10%未満には設定できません。

タイマー運転 2

非常給電設定



給電タイマーを設定する

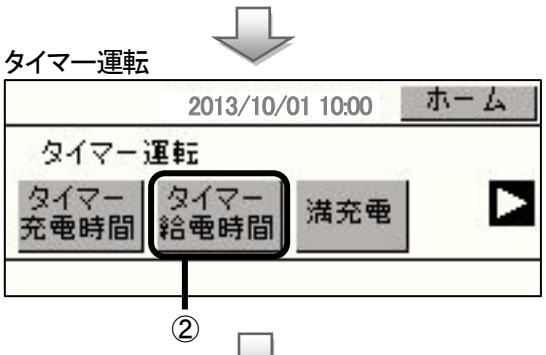
設定時刻に自動的に給電を開始します。
タイマー給電では 2 つのタイマーが使用できます。

① **タイマー運転画面に切り換える。**
ホーム画面 2 で[タイマー運転]をタッチします。

ホーム画面 2

② **タイマー給電時間画面に切り換える。**

[タイマー給電時間]をタッチします。



③ **タイマー給電時間の設定画面を呼び出す。**

[タイマー給電時間 1]または[タイマー給電時間 2]をタッチします。

※ タイマー給電設定は、1 日の中で 2 通りの設定ができます。

④ **設定を変更する。**

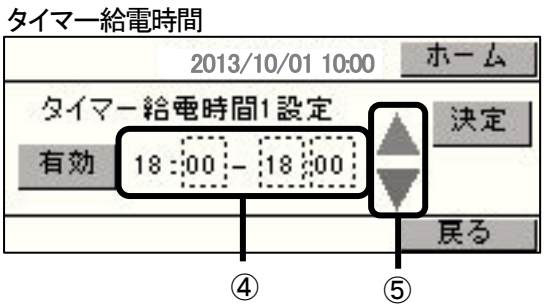
設定したい[時]または[分]をタッチします。

※タイマー運転時間中はタイマー設定を変更できません。

⑤ **時刻を設定する。**

[▲／▼]を押すと新しい時刻が入力されます。

※ [時]は 1 時間単位、[分]は 10 分単位で変更できます。

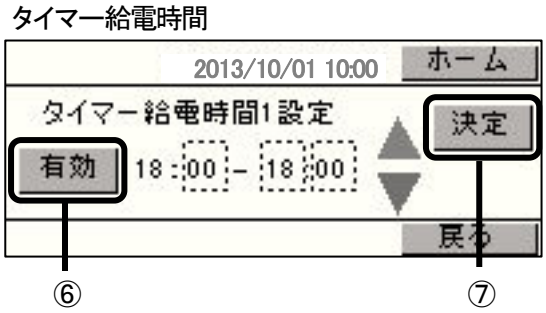


⑥ **タイマーを有効にする。**

[有効] をタッチします。

タイマー運転を無効にする場合は、同一の手順で無効にしてください。

無効　　有効



時刻設定をしただけでは、タイマー運転は有効にはなりません。 タイマー運転を使用する場合は、設定を有効にしてください。

⑦ **変更した時刻を保存する。**

[決定]をタッチします。

※[決定]をタッチしないと、時刻は保存されません。

※ 給電開始・終了時間はタイマー充電の設定時間帯と重複しないように設定してください。

※ タイマー給電時間 1 およびタイマー給電時間 2 の設定時間帯はそれぞれ重複しないように設定してください。

※ 設定時間が重複していると、設定は行えずエラーメッセージが表示されます。

※ 日をまたいでの設定も可能です。

⑧ コネクタを接続する

コネクタを EV に接続します。(→18 ページ)

コネクタはロックしておいてください。(→20 ページ)

※コネクタは、設定した開始時刻までに EV へ接続しておいてください。

タイマー給電中に給電を停止する

給電を停止する。

タイマー給電中に給電を中止する場合は、「コンセントへ給電する(手動操作)(→ 25 ページ)」を参考に、手動で給電を停止してください。

> タイマー給電を手動で停止した場合、タイマー設定時間内であっても再接続による給電動作は**再開されません**。 手動給電による給電動作は可能です。

① 給電を停止する。

給電操作画面で[給電停止]をタッチします。

給電操作

② コネクタのロックを解除する。

[解除] をタッチします。

コネクタロック

※ 給電動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままとなります。

※ コネクタを取り外す際は、コネクタロックの解除を行ってください。(→20 ページ)

タイマー時間中に再給電する

給電を開始する。

タイマー時間中に再給電される場合は、手動操作による給電開始をしてください。

> タイマー給電を手動で停止した場合、タイマー設定時間内であっても再接続による給電動作は**再開されません**。 手動給電による給電動作は可能です。

① コネクタを接続する。

コネクタを EV に接続します。(→18 ページ)

② 手動操作 画面に切り換える。

ホーム画面 1 で[手動操作]をタッチします。

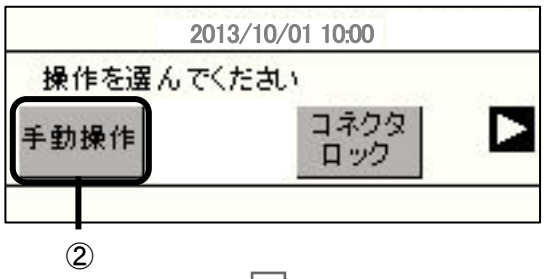
③ 給電操作 画面に切り換える。

[給電操作]をタッチします。

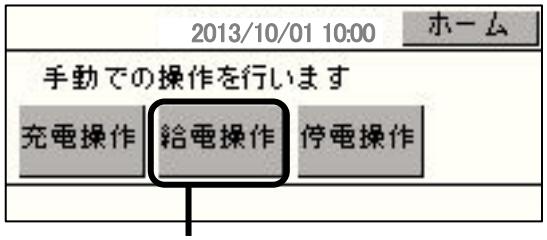
④ 給電を開始する。

[給電開始]をタッチします。

ホーム画面 1



手動操作



給電操作

タイマー給電中に停止した場合

1. EV のバッテリー容量が、EV に設定された最低確保充電率に達した場合は、給電が停止します。
   - タッチパネルに [給電が終了しました]が表示されます。
     給電は継続できません。EV を充電してから、給電を再開させてください。（→22,25,26 ページ）

2. 使用電力が多くなり、本機の電力供給能力を超えた場合、自動的に給電が停止します。
   - タッチパネルの表示が [給電中]のままの場合
     コンセントボックスのブレーカが「切」になっていないか、確認してください。（→11 ページ）
     コンセントボックスのブレーカが「切」になっている場合は、ブレーカの定格を超えて電気機器を使用した可能性があります。タッチパネルの [給電停止] をタッチし、給電動作を停止してください。コンセントに接続する電気機器の使用電力を下げ、ブレーカを「入」にした後、給電を再開させてください。（→25 ページ）

   - タッチパネルのメッセージ表示部に「自動運転待ちです」が表示された場合
     本体機能の保護回路が動作しています。コンセントに接続する電気機器の使用電力を下げて頂くと、約 10 分後に自動的に給電を再開します。すぐに給電を再開する場合は、タッチパネルの[給電停止]をタッチし、給電動作を停止した後に、コンセントに接続する電気機器の使用電力を下げてから、給電を再開させてください。（→25 ページ）

停電時に使用する

万一、系統電力が停電になったときには、手動で EV からの給電を行うことができます（停電操作）。
停電時は、停電操作のみ有効です。充電・給電操作は使用できません。

給電する前に

- 給電をする前に、25 ページの「給電する前に」をご確認ください。
- EV のバッテリー容量が EV に設定された最低確保充電率以下になっている場合は、給電ができません。
- 停電後 10 分以上経過すると、タッチパネルから操作できなくなります。その場合は、本体裏面の［ 停電復帰 ］ボタン（黄色ボタン）を、タッチパネルのメッセージ表示部に「準備完了しました」が表示されるまで長押しを行い、再起動をしてください。

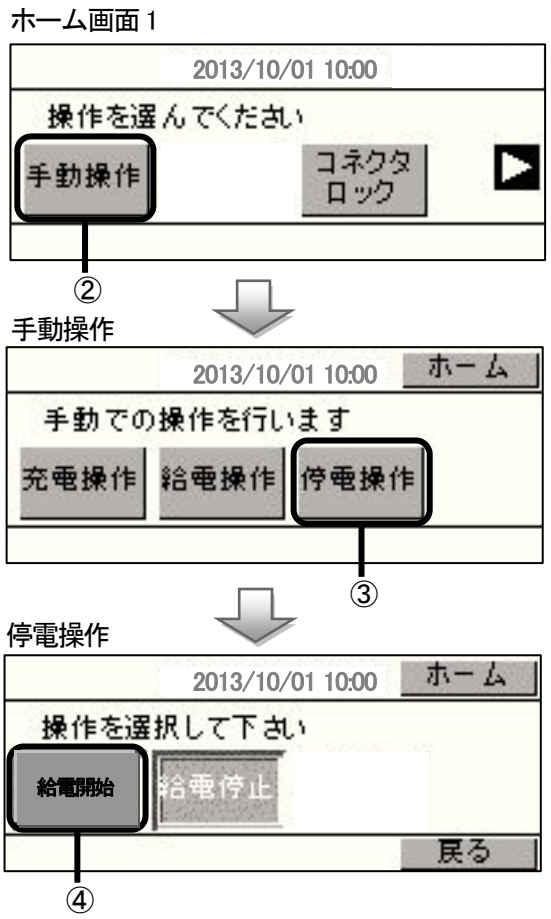
給電を開始する

① **コネクタを接続する**
コネクタを EV に接続します。（→18 ページ）

② **手動操作　画面に切り換える**
ホーム画面 1 で［ 手動操作 ］をタッチします。

③ **停電操作　画面に切り換える**
［ 停電操作 ］をタッチします。

④ **給電を開始する**
［ 給電開始 ］をタッチします。



給電を停止する

① **給電を停止する**

[給電停止]をタッチします。

停電操作

給電中に停止した場合

1. EV のバッテリー容量が、EV に設定された最低確保充電率に達した場合は、給電が停止します。

● タッチパネルに [給電が終了しました] が表示されます。
給電は継続できません。EV を充電してから、給電を再開させてください。(→22,25,26 ページ)

2. 使用電力が多くなり、本機の電力供給能力を超えた場合、自動的に給電が停止します。

● タッチパネルの表示が [給電中] のままの場合
コンセントボックスのブレーカが「切」になっていないか、確認してください。(→11 ページ)
コンセントボックスのブレーカが「切」になっている場合は、ブレーカの定格を超えて電気機器を使用した可能性があります。タッチパネルの [給電停止] をタッチし、給電動作を停止してください。コンセントに接続する電気機器の使用電力を下げ、ブレーカを「入」にした後、給電を再開させてください。(→38 ページ)

● タッチパネルに [待機中] が表示された場合
本体機能の保護回路が動作しています。給電を再開させる場合は、コンセントに接続する電気機器の使用電力を下げてから、給電を再開させてください。(→38 ページ)

停電時に使用する場合の注意事項

● EVパワー・ステーションは系統からの電気が途絶えると、「停電」と認識します。尚、停電から系統が復旧しても5分間は「停電」状態と認識します。

● 災害により停電が発生した場合は、漏電などがなく、電気系統に問題のないことを確認のうえ「給電操作」を行ってください。

⚠ 警告

もし漏電や地絡など発生の恐れがある場合には、火災などの恐れがありますので「給電操作」は行わないでください。

その他の操作

電源を入れる

本体への電源供給ブレーカを「ON」にしてください。
本体に電源が入り、タッチパネルにホーム画面 1 が表示されます。

電源を切る

※電源を切ると、「タイマー有効設定」、「満充電設定」、「非常時給電設定」は、無効になります。

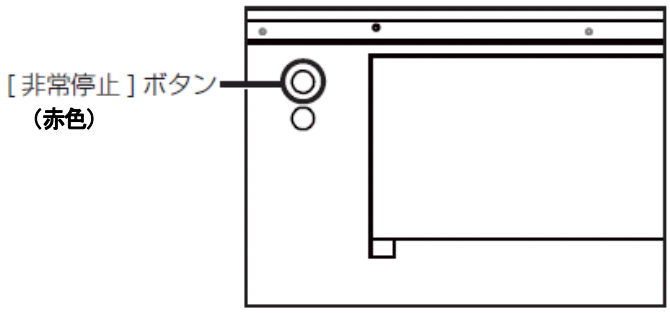
1） 本体への電源供給ブレーカを OFF する。
2） 本体背面の[非常停止] ボタン（赤色）を押す。
[非常停止] ボタン（赤色）は押されたままの状態になります。
3） 本体前面の[充電停止] ボタン（緑色）をタッチパネルが消灯するまで押し続ける。
本体の電源が切れます。
タッチパネルの画面に、もう一度触れ、画面が現れないことを確認してください。

※ 画面が表示された場合はもう一度[充電停止] ボタン（緑色）をタッチパネルが消灯するまで押し続けてください。

※ 再度非常停止ボタンを押し、元の状態に戻してください。

非常停止する

前面操作パネルで停止ボタンを押しても停止しない場合、非常停止ボタンを用いることで、動作を停止させることができます。



本体裏面

非常停止から復帰する

非常停止ボタンを解除する場合は、非常停止ボタンが押されたままの状態になっていますので、再度非常停止ボタンを押し、元の状態に戻してください。

システムリセットする

EVパワー・ステーションを初期化するために、システムリセットをすることができます。

※システムリセットを行うと、「タイマー有効設定」、「満充電設定」、「非常時給電設定」は、無効になります。

1） 本体への電源供給ブレーカを「OFF」にする。

2） 本体背面の[非常停止] ボタン（赤色）を押す。
[非常停止] ボタン（赤色）は押されたままの状態になります。

3） 本体前面の[充電停止] ボタン（緑色）をタッチパネルが消灯するまで押し続ける。
本体の電源が切れます。
タッチパネルの画面に、もう一度触れ、画面が現れないことを確認してください。
※画面が表示された場合はもう一度[充電停止] ボタン（緑色）をタッチパネルが消灯するまで押し続けてください。

4） 再度[非常停止] ボタン（赤色）を押す。
[非常停止] ボタン（赤色）が元の状態にもどります。

5） 本体への電源供給ブレーカを「ON」にする。
本体に電源が入り、システムリセット終了後に、起動します。

データ表示について

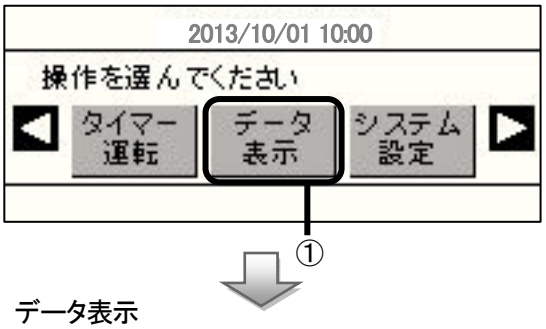
充電電力および給電電力に関する統計データ(日間、月間、年間)を表示します。

※本データは、参考値であり、誤差を含みます。

① **データ表示　画面に切り換える**

ホーム画面 2 で[データ表示]をタッチします。

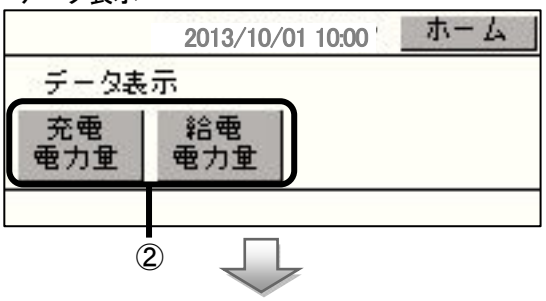
ホーム画面 2



② **データを選択する**

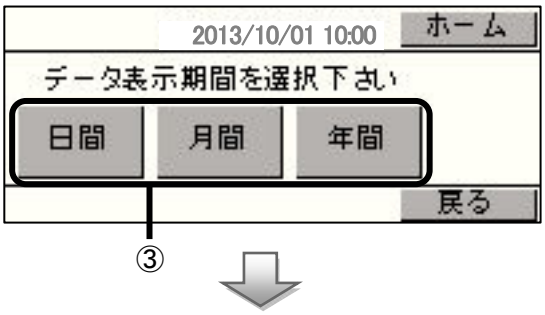
[充電電力量]または[給電電力量]をタッチします。

データ表示



③ **統計データを選択する**

確認したい期間を[日間]、[月間]、[年間]からタッチして選択します。



④ **統計データを表示する**

[一覧データ]または[グラフデータ]をタッチすると、統計データが表示されます。

日間	1 日の時間ごとの電力値(kWh)および累計値を表示します。 当日より 7 日前までのデータを表示します。
月間	1 ヶ月の日ごとの電力値(kWh)および累計値を表示します。 当月より 1 カ月前までのデータを表示します。
年間	1 年の月ごとの電力値(kWh)および累計値を表示します。 当年より 2 年前までのデータを表示します。
一覧データ	選択した表示期間のデータを一覧で表示します。
グラフデータ	選択した表示期間のデータをグラフで表示します。

こんなときは

本体の電源が入らない

本体への電源供給ブレーカが「OFF」になっている可能性があります。
ブレーカを「ON」してもすぐに「OFF」になる場合は販売店に連絡してください。

パスワードを忘れた場合

販売店もしくはお客様相談室に連絡してください。販売店もしくはお客様相談室からの指示に従い、パスワード表示画面を確認してください。パスワード確認用の 4 桁の数字が表示されますので、その数字を販売店もしくはお客様相談室へ連絡してください。表示された数字は、そのままパスワードとしては、ご使用にはなれません。

コネクタが取り外せない

充電動作または給電動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままとなります。
コネクタを取り外す際は、「コネクタのロック／ロック解除を行う」(→20 ページ)を参考にロックの解除を行ってください。

コネクタが凍結した

コネクタおよびコネクタホルダ部が凍結した場合は、充電・給電を停止し、ロックを解除後にぬるま湯で解凍してください。
解氷剤、凍結防止剤は使用しないでください。

満充電にならずに充電が止まる

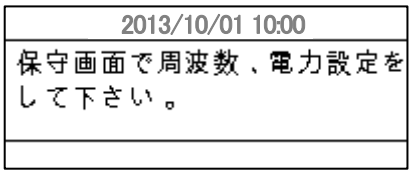
本機は、EV が推奨するバッテリー容量まで充電すると、停止するように設定されています。満充電にしたい場合は、満充電機能をお使いください。(→22 ページ)
なお、満充電は設定を変更するまでその状態を保持します。

満充電設定していないのに満充電になる

EV の設定によっては、満充電設定していないのに、満充電になる場合があります。詳しくは、EV 販売店にお問い合わせください。

充電時に本体への電源供給ブレーカが頻繁に落ちる

- 設置時、電源を投入すると右の画面が表示されます。
  周波数設定、電力設定を適切に行っていただく必要があります。
  設定された周波数、電力などが適切でない場合、ブレーカの頻繁な遮断や電気機器の故障につながる恐れがあります。



- 充電動作時にブレーカが落ちる場合、電力設定が間違っている可能性があります。販売店にご相談ください。
- 充電には 6kW 未満の電力が必要です。その他ご家庭内でご使用になる電気機器も含めた電力契約が必要です。

給電できない

- 本機の給電機能を使用するためには、EV 側のプログラムを変更する必要があります。EV のプログラムを変更されていない場合または、変更されたか不明な場合は、EV 販売店へお問い合わせください。
- EV のパワースイッチが ON したままになっていると、給電動作は開始されません。パワースイッチを OFF し、給電を開始してください。
- EV の設定によっては、給電が開始されない場合があります。詳しくは EV 販売店にお問い合わせください。
- EV の充電率が最低確保充電率以下である場合は、充電を行ってから給電してください。
- コンセントボックス内蔵のブレーカが、「切」になっていると給電ができません。ブレーカが「切」になっている原因を取り除いた後、「入」にしてからお使いください。（→11 ページ）

給電が停止する

- 本機は EV のバッテリー容量がゼロになることを防止するため、給電を EV が推奨するバッテリー残量で停止するように初期値が設定されています。
  非常時には残量 10%まで給電設定することが可能です。（→26 ページ）
- 使用電力が多くなり、本機の電力供給能力を超えた場合、自動的に EV からの給電を停止します。使用電力をEVパワー・ステーション供給能力以下の状態にしてください。10 分程度で自動的に EV からの給電が開始します。（→27,37,39 ページ） 但し、停電時は、自動的に再開しません。

電気機器の動作が不安定になったり、停止したりする

- 本機の定格出力を超えるまで電気機器を接続・運転すると、動作が不安定になったり、停止したりする場合があります。
- 2系統の負荷のバランスにご注意ください。
- また、定格出力内であっても、突入電流(*)が大きい電気機器を使用した場合、一時的に定格出力範囲を超え、動作が不安定になったり、停止したりする場合があります。
- 電気機器の運転状態をご確認いただき、不要な電気機器を「切」にするか、消費電力の大きい電気機器のご使用はお控えください。
- 電気機器の消費電力については、電気機器の取扱説明書を確認、またはメーカーにお問い合わせください。
- 途中で電源が切れると困る機器、突入電流が大きな機器、消費電力が大きな機器を使用される場合はご注意ください。

一例を表に示します。

家電製品の種類	対処・動作	製品例
途中で電源が切れると困る電気機器	接続禁止	医療機器
	接続注意	録画機器 デスクトップ型パソコンなど電源が切れたら困る機器
突入電流*が大きい電気機器	動作しない場合がある	家庭用エレベーター、掃除機、遠赤外線ヒーター、井戸水ポンプ、業務用複合機、暖房温水便座、高圧洗浄機、大型ブラウン管テレビなど
消費電力が大きい電気機器	動作しない場合がある	炊飯器、電子レンジ、 IH クッキングヒーター、エアコンなど

＊ 電気機器の起動時に流れる電流です。定常運転時に比べ一般に大きな電流が流れます。

- 負荷が小さいにもかかわらず、動作が不安定になる場合は、周波数設定が間違っている可能性があります。 販売店またはお客様相談室にご相談ください。

EV からの給電時に、LED 照明がちらつく

調光器付きの LED 照明を使用している場合にちらつきが発生することがあります。
ドライヤー、掃除機、電子レンジなどを使用すると、電圧の変動が発生する場合があります。その影響を受けちらつき、照度低下が発生することがあります。

給電中なのに電力メーターが動いている

EV からの給電中でも、ＥＶパワー・ステーションの作動用として若干の系統電力を使用しているため、電力メーターが動きます。系統停電時は、ＥＶパワー・ステーション内部のバッテリーを使用し電力を供給するので、停電時でも問題ありません。

機器から異音が発生する

以下の音は本製品の異常ではありません。

カチッ（本体）	給電切り換え時の音です。
ブーン（本体）	空冷ファンの音です。

運転時の高周波音は、まれに聴覚感度が高い方にとっては不快に感じる場合があります。
本体の設置条件によっては、空冷ファンの音が大きく聞こえることがあります。そのような場合、静音フード（オプション）をご用意しております。

定期的に「ピー」音が鳴る

タイマー充電・給電を予約している時間になった際、コネクタが EV と接続されていないと「接続異常」と診断してしまうため 10 分おきに開始音と警告音が鳴ります。EV と接続していない状態ではタイマー充電・給電を停止してください。

また、タイマー運転中および手動運転中に停止操作をせずにコネクタロックを解除すると 10 分おきに開始音と警告音が鳴ります。（→17 ページ）

タッチパネルの表示が見えにくい

タッチパネルは、低温時に液晶の反応が遅くなることや、表示が見えにくい場合があります。また、直射日光下でも、表示が見えにくい場合がありますが、故障ではありません。

しばらく使用しない場合

本体への電源供給ブレーカを「OFF」にした状態で長期間（1 ヶ月程度）放置しますと、内蔵電池の電圧が低下し、停電時にご使用になれない場合があります。そのため、定期的に（2 週間毎に 1 日を目安）に本体への電源供給ブレーカを「ON」にしてください。

風水害または地震時の対応

風水害時に水没の恐れがあるときは、あらかじめ運転を停止した後、本体への電源供給ブレーカを「OFF」にしてください。
また、水没した場合には、運転を停止した後、本体への電源供給ブレーカを「OFF」にし、お買い上げの販売店までご連絡ください。
地震の場合は、被害状況に応じて、販売店までご連絡ください。

エラーメッセージが表示されたとき

エラーメッセージが表示されたときは、次の表に従って処置してください。

それでも回復しない場合は本製品の故障が考えられます。お客様相談室に連絡していただく際には、画面に表示されるエラーメッセージをご連絡ください。

エラーメッセージの内容と処置

エラーメッセージ	処 置
手動給電再開待ちです （関連:28 ページ）	手動給電中に過負荷等で給電が一時停止した場合に表示されます。約10分後に自動的に給電を再開します。
自動運転待ちです （関連:37 ページ）	タイマー給電中に過負荷等で給電が一時停止した場合に表示されます。約10分後に自動的に給電を再開します。
インバータ部に異常が発生しました	通信異常・MCU 異常・本体異常が発生した場合、EV パワー・ステーションと EV の接続および EVの設定（パワースイッチ、タイマー設定など）をご確認ください。それでもエラーが解消されない場合は、お客様相談室にご連絡ください。
コンバータ部に異常が発生しました	
充電器部に異常が発生しました	
通信異常が発生しました	
MCU 異常が発生しました	
本体異常が発生しました	

コネクタ付きケーブルを本体に固定する

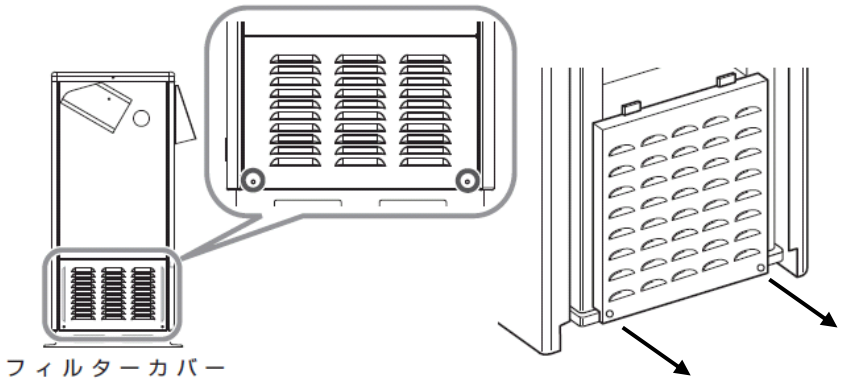
いたずらを防止するために、コネクタ付きケーブルを本体に固定したい場合は、コネクタとコネクタホルダを市販のチェーンやワイヤで固定し、鍵をかけることをお勧めします。

点検とお手入れ

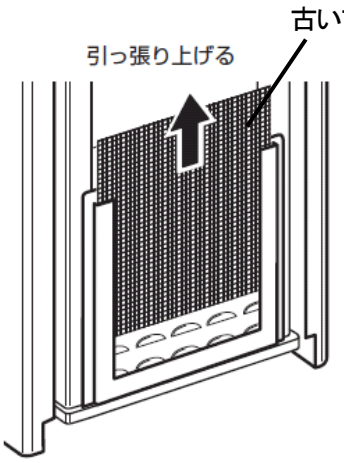
フィルターの交換

本体のフィルターは消耗品です。性能を維持するため、1 年に一度交換してください。フィルターの購入については、お客様相談室にお問い合わせください。

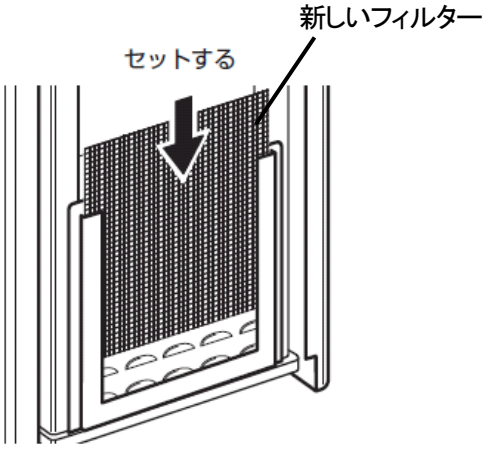
① 本体下側のフィルターカバーのつまみネジ 2 本を取り外す（ネジの紛失にご注意ください）



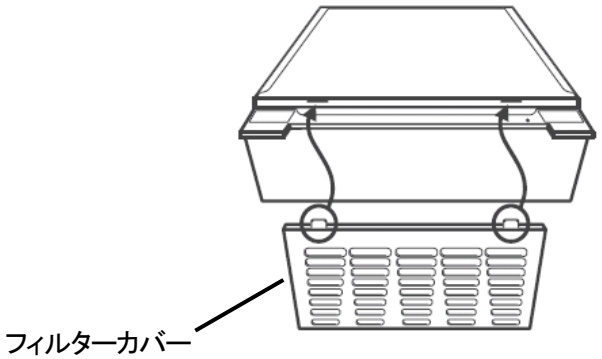
② フィルターをホルダから取り外す



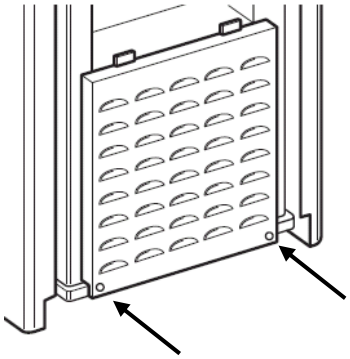
③ 新しいフィルターをセットする



④ フィルターカバーを取り付ける



⑤ 2 本のネジを締め、フィルターカバーを固定する



保証とアフターサービス

保証について

保証については保証書の内容をよくお読みください。
保証書は販売店よりお渡ししますので、販売店名、設置工事完了日の記入をお確かめになり、販売店が発行する工事完了報告書（またはそれに準ずる工事完了日記載の書類）といっしょに大切に保管してください。
上記の記載がない場合、無効となることがあります。

アフターサービスについて

● ご不明な点や修理に関するご相談
ご不明な点や修理に関するご相談は、お客様相談室にお問い合わせください。

● 修理を依頼されるとき
修理を依頼される場合、次のことをお知らせください。

- 装置の型式と製造番号 (Serial.No.)
※保証書添付のラベル、もしくは本体吸気口上部添付のラベルをご確認ください。
- 設置工事完了日
※保証書添付のラベルをご確認ください。
- 故障の状況（エラーメッセージ、故障発生時の運転状況、発生日時と天候など）

● 補修用性能部品の最低保有期間

- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 10 年です。

製品に関するお問い合わせ

● 本製品の仕様に関するお問い合わせやご相談は下記窓口にご連絡ください。

ニチコン株式会社　お客様相談室

TEL. 0120－215－023 （フリーダイヤル）

受付時間 9:00 ～ 17:00 月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）

機器仕様

本体仕様

		標準仕様	防錆仕様(注5)	寒冷地仕様(注5)
環境	設置場所	屋外(注1)		
	標高	最大 2000m		
	周囲温度	−10℃～＋40℃		−30℃～＋40℃
	周囲湿度	30～90% （結露なきこと）		
	運転音	約 45dB (注2)		
表示操作器		3.4 型モノクロ液晶タッチパネル(注3)		
入力電源		単相 2 線、AC200V ± 10%、50 ／ 60Hz ± 2%、入力電流 0 ～ 30A		
充電部	出力電圧	DC450V 未満		
	出力電流	DC 19A 未満(注4)		
	効率	充電効率最大 90%（CHAdeMO 規格）		
給電部	入力電圧	最大入力電圧DC450V)		
	出力電圧	単相 3 線 N−L 間 AC100V ± 6%、L1−L2 間 AC200V ± 6%		
	周波数	50 ／ 60Hz ± 2%		
	出力電流	コンセント出力：アース付きコンセント 2 口x2 相（各相定格 15A）		
消費電力(注7)		給電時 約 80W 充電時 約 55W 待機時 約 30W		
絶縁耐圧		AC2000V ／1 分間（主回路一括～対地間）		
絶縁抵抗		DC500V 絶縁抵抗計にて 50M Ω以上		
充電ケーブル		約 3.7m 約 6kg（標準）/約 7.5m 約 9kg（オプション）、		
本体寸法		650（W）×780（H）×350（D）mm （突起部含まず）		
質量		約 70kg （ケーブル重量含まず）		約 72kg （ケーブル重量含まず）
防錆塗装		×	○	○
防錆ネジ		×	○	○
防錆対策ファン		×	○	○
回路基板の防錆処理		×（一部防錆処理）	○	○
低温時のタッチパネル表示薄れ防止		×	×	○(注6、注7)
静音フード（雪吹込み防止フード）		△（オプション）	△（オプション）	○(注8)

注１ 受信障害となる場合がありますので、ラジオ・テレビ・アマチュア無線等の電波を利用する機器とは 3m 以上離して設置してください。重塩害地域では使用できません。温泉等の腐食性ガスのある環境では機器の動作に影響を及ぼす可能性があります。事前にご確認ください。

注２ＥＶパワー・ステーションから発生する音について

- **充電中や家庭への給電中の音はエアコンの室外機音程度ですが、敏感な方は機器の高調波音が気になる場合があります。**
- **充電や給電への切り換え時に、内部リレーが切換わる音が発生します。**
- **内部温度が高くなると、排気ファンが高速になり、作動音が大きくなることがあります。**

注３ 指定の周囲温度外では表示の応答性やコントラストに支障を及ぼす場合があります。強い紫外線下での使用を避け、過度の荷重をかけないようにご注意ください。

注４ 機器の出力値であり、実際の充電出力を保証している数値ではありません。契約電力や家庭への負荷および EV の充電率によっても異なります。

注５ 防錆仕様品を使用した場合でも、サビの発生に対して万全ではありません。本書に記載している「設置上のお願い」（→9 ページ）事項をお守り頂くことで、サビの発生時期を遅らせることができます。

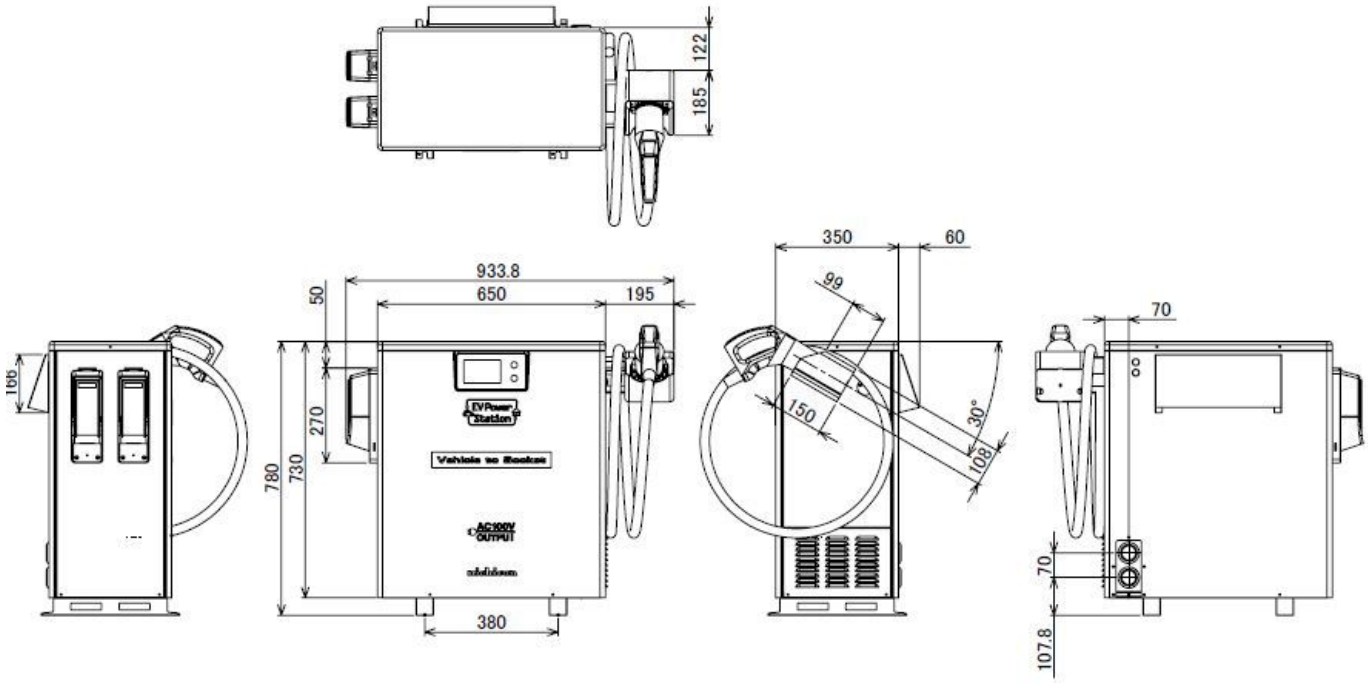
注６ 低温下においてはタッチパネルの液晶の反応が遅くなることや、表示の一部が薄くなることがありますが故障ではございません。

注７ 寒冷地仕様品は、低温時にタッチパネルの表示薄れ防止用ヒーターの動作により、待機電力が 20W 程度大きくなります。

注８ 寒冷地仕様品であっても、雪の吹込みに対して万全ではありません。吹きさらしとなることを極力回避するような場所に据付けてください。

機器外観図　（数値単位は mm　 但し、参考値）

本体



※寒冷地仕様の雪吹き込み防止フードは図に含んでいません。